



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

6月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】失業者
【宣教】ヨーロッパの信仰
【日本の教会】家族の絆

今年度第1回司祭評議会開催

今年度第1回司祭評議会が5月20日（火）司教館にて開催された。
まず、司祭評議会員の任期が切れるのに合わせ、規約の改定を行い、文言的的確化と、構成メンバーの変更を行った。新しい規約に基づいて、6月に新評議員が選出される予定である。

また、聖職者の性的虐待についての第三者委員会設置が日本の司教団によって常設義務化となされたのを受け、第三者委員会のメンバーの選任、問題が起った時の対応の手順、マニュアル案などが検討され、決定した。今後、相談窓口など公表されることになる。



福岡教区修道女連盟年次総会開催
信仰を誰が誰にどのように伝えるか

去る4月29日、昭和の日、昭和生まれのシスターズ81人が、熊本・佐賀・北九州・福岡市内から大名町教会に集い、教区長宮原良治司教の講話に始まり、ミサ、総会、終わりに、担当司祭古川健一神父にお言葉を頂き、そして食事と共に有意義な一時を過ごすことができた。福岡修道女連盟には、23の修道会、37支部から構成されている。宮原司教は講話の中で、福岡教区の2014年度年間目標「信仰の伝達」をテーマに、信仰の営みは最終的に信仰が伝わっていくことを目的とし、その為の大前提として、聖書や教会の教えを通して、神が人間に何を語りかけ、何を求め続け、どのように関わり、交わり続けているのかを知り、学ぶ必要があるとして、3年間「信仰生涯学習」という目標を掲げて歩んできたことが述べられた。

更に、信仰の学びは、単なる知識や教養の為ではなく、生活の中で具体的な行動や振る舞いとして生き、実践されるような神との出会いと交わりが、秘跡を通して繰り返され、体験される必要があると力説された。

これを、総会において確認した。信仰の伝達に「修道女として、どのように、歩み始められるか模索する機会になればと思う。前会長、シスターキリスト教入門講座リーダー養成講座開催

最後の一日をともに過ごした宮原司教は参加者の三日間の頑張りをねぎらった後、教区の今年の目標が「信仰の伝達」であることを思い起こさせ、こう語りかけた。「教皇様は新しい方法で福音を伝達する必要を述べておられます。この講座は大事なその一つだと思います。宣教の一翼を担って下さい。これまでやってきた人は続けて下さい。初めて参加した方々も、失敗を恐れず始めて下さい。どんな名人も初めはみんな素人です。そしてこれからも新しいリーダーをどんどん増やして下さい」。

はじめて参加した数人が嬉しそくに感想を述べた。「神の愛をいつも感じながらこの場にいることができました。自分が自分でいいと感じられる貴重な時間でした、素晴らしい仲間と出会えたことが嬉しい」。

第2期の研修は7月20・21日に予定されている。

ヨハネ23世とヨハネ・パウロ2世は、本来の特徴に従って教会を修復し、現代化するために、聖霊に協力しました。この特徴とは、聖人たちが諸世紀を通じて教会に与えてきたものです。教会を進ませ、成長させてきたのは聖人たちであることを忘れてはなりません。聖ヨハネ23世は、公會議を招集することに、細心の注意をもって聖霊に忠実に聞き従う態度を示しました。教皇は、聖霊に導かれながら、教会にとっては牧者でした。彼は導かれた指

導者、聖霊に導かれた指導者でした。これこそが教会に対する教皇の偉大な奉仕でした。それゆえわたしは、ヨハネ23世を「聖霊に忠実に聞き従う教皇」と考えたいと思います。

この新たな二人の神の民の聖なる牧者が、教会のために執り成してくださいますように。そして、シノドスの二年間の歩みの間、教会が、家庭への司牧的奉仕に関して聖霊に忠実に聞き従うことができ、キリストの傷にますますくことなく、神のあわれみの神秘にますます歩み入ることを、わたしたちを教えてくださいますように。

今年には正義と平和全国集会2014福岡大会への参加を活動計画の一つとして学ぶこと

日本中が大型連休で湧き立つ中、5月4日から3日間、手取教会で「リーダー養成講座」が開かれた。福岡教区養成教化委員会主催によるもので、福岡、熊本地区から37人が集い、真剣な研修が行われた。

聖コロンバン会員グリフィン師が立ち上げた「キリスト教入門講座」通称グリフィン

黒木に感謝！
新会長シスター富山と修道女連盟メンバーとその働きの上に神様の祝福が豊かにありますように！

開き、ありのままの自分と出会い、自分のままでいいことを納得し合った。これを伝えることから福音宣教は始まる。

M

時の話題

Sr. 柿山節子

私たちの修道院では高齢化が進み、平均年齢は80歳を超えます。80歳ともなるとリタイヤが普通でしょう。修道院では、それぞれが年齢の枠を超えながら死ぬまで現役という覚悟で生きています。

想定外のことがらが舞込み、それらの務めは、ひとしお疲労感を誘います。信徒が期待する「当たり前」の神父様がたの「お仕事」を、司祭が少なくなった現在でも、神父様がたに任せ続け、よいものか良心の呵責を覚えます。だからといって司祭のお仕事を担うこともできません。ジレンマです。何を協力できるか考えています。司祭が少なくなっている現状では、いつまでも秘跡を「当たり前」として受け続けることができるのか不安に思っています。神父様がたは私たちの宝です。大事に大切にしたいと思えます。神父様の片棒

を担ぐつもりで、少なくとも、ミサの応答の部分や、聖歌などを観衆とならず、参加者として熱心にあずかりたい、そう思っている今日この頃です。

都会の喧騒から少し離れて住むようになって、水や空気が少し違うと思うようになった。自然がおいしい、そう思う。ここ10数年、ツバメが巣を作り、雛を育てている光景はまず見たことがなかった。ここではその光景を時折目にし、昔を思い出した。幼少の頃は、家の軒下のあちこちにツバメの巣があった。子どもながらに親鳥は、よくまあ上手に巣を作るものだと感じていた。親鳥が餌をくわえて巣に戻ってくる。小さな雛たちはけたたましく鳴き声をあげ、小さな口を一生懸命に開けている。そんな風景が街角にあった。今は、餌となる虫もいないのであるうか、あるいは、都市化が進み、巣をかける所が見つけにくいのか、街中では見られなくなっているが、人間は自然の生き物たちを逆に住みにくくしているのかもしれない。

M



福岡教区現勢報告 2013年(2013年1月～12月)

教会名	在籍信徒数			不明 合計	死亡 合計	洗礼		ミサ参加者数		
	男	女	合計			幼児 合計	成人 合計	主日	復活祭	降誕祭
1 系島村	207	238	445	41	3	3	5	135	180	225
2 今村	410	525	935	0	13	11	3	350	400	540
3 大楠	155	204	359	15	2	2	5	100	150	420
4 大牟田	146	241	387	25	1	3	4	100	200	300
5 小郡	170	266	436	4	6	2	2	150	250	250
6 久留米	375	562	937	123	5	14	6	350	500	670
7 古賀	411	506	917	36	8	6	5	226	574	801
8 笹丘	321	452	773	9	5	4	5	180	250	400
9 浄水	212	337	549	63	4	3	6	150	250	450
10 大名町	680	1,038	1,718	9	15	10	7	400	500	1,400
11 高宮	248	365	613	103	6	5	3	130	280	370
12 茶山	184	201	385	46	5	2	1	90	174	194
13 西新崎	535	773	1,308	0	11	9	6	300	300	470
14 箱崎	152	227	379	6	1	2	6	95	150	300
15 光丘	479	561	1,040	297	5	2	4	200	450	600
16 二日市	227	324	551	43	7	1	4	100	250	300
17 二本郷	305	361	666	11	8	3	0	230	350	400
18 吉塚	227	291	518	89	8	2	0	130	210	230
19 老司	220	227	447	16	7	2	1	60	200	250
福岡地区計	5,664	7,699	13,363	936	120	86	73	3,476	5,618	8,570
20 飯塚	123	151	274	0	1	5	0	70	100	120
21 黒崎	433	628	1,061	0	14	2	2	250	350	450
22 小倉	1,104	1,587	2,691	532	24	7	8	270	400	600
23 新田原	736	822	1,558	140	17	3	0	500	764	633
24 田川	21	49	70	29	1	0	2	25	40	65
25 天神町	83	136	219	23	1	1	0	60	70	80
26 戸畑	183	266	449	0	7	6	2	170	250	450
27 直方	90	75	165	23	3	1	6	65	70	80
28 水巻	335	425	760	0	7	0	0	135	220	281
29 水門	136	218	354	129	11	0	3	90	100	110
30 湯川	536	624	1,160	138	15	1	1	180	360	500
31 行橋	411	454	865	40	6	4	6	250	640	650
32 若松	103	155	258	0	2	0	1	70	140	190
北九州地区計	4,294	5,590	9,884	1,054	109	30	31	2,135	3,504	4,209
福岡県合計	9,958	13,289	23,247	1,990	229	116	104	5,611	9,122	12,779
1 伊万里	132	160	292	27	4	0	0	50	100	140
2 鹿島	23	28	51	0	1	0	0	12	30	50
3 唐津	213	244	457	51	2	0	0	60	150	170
4 佐賀	254	409	663	125	2	10	3	100	200	260
5 多摩	58	77	135	3	0	1	2	20	30	40
6 武雄	29	40	69	0	1	1	1	20	40	50
7 鳥栖	138	215	353	0	2	1	3	120	200	300
8 馬渡	98	74	172	68	1	0	0	80	110	120
9 呼子	220	215	435	0	6	4	0	100	150	150
佐賀県合計	1,165	1,462	2,627	274	19	17	9	562	1,010	1,280
1 荒尾	36	71	107	8	0	0	0	35	45	45
2 大江山	113	183	296	2	7	2	0	75	145	210
3 大井	116	140	256	38	2	0	0	100	150	250
4 菊池	43	75	118	0	1	4	6	40	70	120
5 健軍	86	173	259	0	5	6	8	100	180	240
6 崎津	83	110	193	10	1	0	0	40	75	105
7 島崎	130	200	330	0	6	5	3	100	140	250
8 玉名	45	69	114	0	2	0	0	30	80	90
9 手取	352	651	1,003	0	30	5	25	350	500	500
10 人吉			0	0	0	0	0			
11 本渡	39	72	111	57	1	2	1	25	30	45
12 水俣	31	48	79	0	0	1	0	23	41	48
13 武蔵ヶ丘	153	266	419	15	6	0	1	120	150	180
14 八代	41	83	124	8	5	3	4	70	90	150
熊本県合計	1,268	2,141	3,409	138	66	28	48	1,108	1,696	2,233
教区総計	12,391	16,892	29,283	2,402	314	161	161	7,281	11,828	16,292

洗礼の恵みを受けて

今年の復活徹夜祭、父と子と聖霊のみ名によって、ヨゼフの洗礼名をいただき、洗礼の恵みをいただきました。ありがたく神に感謝するとともに

カテキズムを学ぶ⑨

原罪について (2)

稲垣良典

前回、原罪は人祖アダムの罪ではなく、アダムが犯した罪の結果として子孫である全人類が蒙ることになった罪の状態を指す、と説明しました。おそらく多くの方が罪の「行為」ではない罪の「状態」とは何だ、という疑問を抱かれたのではないでしようか。『カトリック教会のカテキズム』は「(原罪は)人間本性の傷つけられた状態」「原初義と聖性を失った人間の本性」と説明しています。「原初義」とは神によって創造された人間

の最初の秩序正しい状態を指すもので、人間の理性は神に従い、感覚など下位の能力は理性に従い、身体は魂に従う、という正しい秩序が保たれていることです。そしてこの原初義は純粹に自然本性的なものではなく、神の恩寵の賜物であり、そのため「聖性」と呼ばれているのです。つまり人間は「恩寵において」創造された、というのが教会の信仰です。これは原罪を正しく理解するために大事な点だと思えます。原罪は「自然本性

の子3人が受洗した家族の内

の病い」と呼ばれ、この病いは人間の自然本性そのものの破壊であるのか、それとも習慣のレベルなのかが神学論争の的になりますが、根本的にはそれは恩寵の喪失と言うべきです。しかもこの喪失を引き起こしたのは人間自身の側でした。神の恩寵、つまり神の愛と好意に包まれていた人祖がどうして神に背き罪を犯したのか。答えは「自由」のほかにありません。人間が恩寵を受け、恩寵のうちにとどまるのは、その全体が神の働きですが、恩寵の喪失を引き起こす罪の第一原因は人間の自由であり、それを説明する原因や理由はないのです。『カテキズム』は「原罪とすべて

成23年12月から教会で毎週1回、平成26年4月中旬迄、カトリック入門のお話に参加致しました。その結果今年の復活徹夜祭、洗礼を受け、教会の一員となることが出来秘跡を通して、絶えずわたしを清め、信仰と希望と愛徳に進む事が出来ました。主よ、わたしが神の恵みに、いつも忠実でなかった事をおわびし、これからは悪魔と、そのいざないに打ち勝ち、固く信じる事を誓い、持病とともにつきあい、生涯生き抜きたいと思います。額に香油とともに

に十字架のしるしを受けたわたし、ヨゼフは信者としての自覚を深め、この世の姿を正しくわきまえ、キリストを証し出来るように励みます。受洗した事で本気に信仰すれば必ず神は栄光を与えてくれると信じながら結果を批判せず全て神に誓い、いい方向に結果を向けて日々を過ごして行くと栄光はおのずから与えられると信じております。神よ、わたしに勇気と謙虚さを与えてください。アーメン。

【聖書をたいへん・ゆつくり読む祈り-レクチオ・ディヴィナー-】
日時:6月21日(土)受付16:00より。16:30開始～22日(日)15:00
講師:来住英俊神父(御受難会)
参加費:10,000円
申込み締め切り:6月18日(水)
※企画中の黙想会【奉獻者の黙想会】7月11日(金)～19日(土)
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
〒811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
E-メール f-mokuso@fmokuso.com (アドレスが変更になりました)

5月5日、大橋にある聖心ウルスラ宣教女修道会福岡本部修道院にて、誓願50周年を迎えた姉妹2人、25周年を迎えた姉妹2人の記念・誓願更新ミサが、宮原司教の司式のもと、80人の方々とともに執り行われた。



誓願50・25周年の祝い

御前で、初誓願の時と変わらない永遠の誓いを、熱い想いを込めて、あらためて宣言した。祝賀会は隣接された幼稚園の大ホールにて行われ、修道会総長とその顧問らも参加し、本会のボランティアグループS.E.C.O.の会、高宮の信徒のコーラス、恒例の誓願者のことを紹介した、3択クイズ等楽しい催しが行われた。最後は会場参加者皆が一つの心となって「マリア様の心」を祈りを込めて唱和し、聖心のウルスラ宣教女修道会の特徴である家庭的雰囲気、明るさと温かさが感じられ記念される感謝のひと時となった。このカリスマとともに生きる若い召命を願いつつ…。



ミサ用ワイン

ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ (赤) (白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 [SOU-EN]

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

立正佼成会八代教会を訪問

活動を続ける熊本地区諸宗教対話研究会



ドを披露すると、会場は温かい笑いに包まれた。現会長の娘婿・統弘氏は真命山のシスター・マリアと同じ時期に、グレゴリアン大学の神学博士課程で学んだ人だと聞くと驚きの声があがり、互いの距離は一段と縮まった。

5月11日、熊本地区諸宗教対話研究会は、立正佼成会八代教会を訪問、30人ほどの出迎えを受け、和やかな交流が実現した。設立40年を迎えるこの教会は、熊本県南地区を統括しており、活気を帯びて

まず会長の上村道雄氏が、熊本諸宗教対話の25年の歩みを語り、次いでフランコ師が立正佼成会との深い関わりを紹介した。宗教者会議が立正佼成会本部で開かれた際、食事

第二バチカン公会議による教会⑥

ミサを終えて、出口で皆さんをお送りしていると、決まって誰かが「お疲れ様でした」と挨拶してくださいます。ご本人は、単なる挨拶の言葉として、あるいは労いの心

二バチカン公会議以前の典礼について、「そこではいわば二つの並行する典礼が存在していました」と指摘しておられます。つまり、それまでの典礼は司式者と参列している会衆との一体感が希薄だったという事です。司式者は侍者

話を結んだ。その後、殉教公園で祈りたいと河村教会長から要望を受け、公園に移動して殉教者を偲び、東日本大震災被災者のための祈り、平和の祈りを一緒に唱えた。最後にオカロール

師のギターに乗せて聖歌を唱和し、協力を約束し合い、和やかな雰囲気の中で散会した。諸宗教対話の動きがさらに広がり、深まることを期待したい。

長濱 聡 (八代教会)

井手公平神父の奮闘記

去年の6月28日だったと記憶していますが、初めて日本を出て、海外の地、フィリピンのマニラ空港に降り立ちました。日本でも暑くなり始めた頃だっと思いますが、夕暮れ時のマニラの蒸し暑さは、「真夏の先取り」といった感じでした。しかし、後で聞いた話ですが、フィリピンで最も暑いのは3〜5月の間

海外で生活したことのある人なら誰でも経験するものなのではないでしょうか？言葉の壁は厚かったし高かった。研修に出かける前には、可能な限り英語の学習に集中して備えるつもりだったのが、直前まで小教区の主任司祭と幼稚園の園長を務めなければならず、自

らに教会堂も「内陣(至聖所と歌隊所)」と外陣(会衆席)とに区分けされ、内陣は高く設えられ、その最奥部分に祭壇があり、また両陣は聖体拝領のためのひざまずき台で区切られていました。そのため会衆にとっては「自分たちの場所」から遠く離れた場所で繰り広げられる儀式を眺め、聴くという状況になっていたわけ

第二バチカン公会議は、典礼をイエス・キリストの神秘体が果たしている公的礼拝と考えると、(典礼憲章七番)つまり、

リピン・インドネシア・マレーシア・東ティモール・ミャンマー・タイ・シンガポール・ベトナム・インド・パキスタン・スリランカ・バングラディシュ・ニュージールランド・フィジー・キリバチ・コング・ナミビア・ジンバブエ・ペルー・スペイン・イギリス・アメリカ等々。流暢に英語をしゃべる人もいれば、私のようにビギナーズレベルの人もいましたし、お国なまりの英語が飛び交っていました。ちなみに日本人は私

を含めても少数。フィリピンには、カトリックの大学や研修所が「乱立している」と言っているほどたくさんあつてビックリしました。主にアジア各国から修道者や司祭、また一般信徒の方々まで、そういった教育機関で勉強に励んでいました。私が研修を受けたEAP Iは、宣教師司牧に集中した実践的なコースが開講されていました。難しくて苦勞したんですが、それなりにおもしろかったんです。(続く)

福岡地区青年会の今



4月29日、福岡地区青年会は新青年歓迎を兼ねて遠足を企画し、3人の新しいメンバーを含む21人が、そば打ちとザビエル聖堂、古賀教会訪問を楽しんだ。自分たちの信仰に

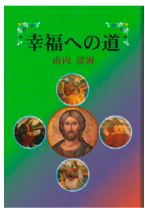
ついての基本的なことをしっかりと学ぼうと、第1回として5月17日に白浜満神父(日本カトリック神学院院長)を迎え、大楠教会を会場に、ミサについて学んだ。これからも、定期的に基本的なことの学びの時を持つ予定である。

自国語に変更しました。こうして典礼の中で働かれる神のメッセー

聖ヨハネ・パウロ二世教皇は日本人に対してよく「神に感謝！」と声をかけておられました。「神に感謝！」(せめて「よかつたね!」)と口々に言つて、ミサから帰るみなさんの姿は教会の外にまで大きな影響を及ぼすでしょう。こういう私ですが、ミサの後で「疲れていますね」と時々言われています。気をつけま

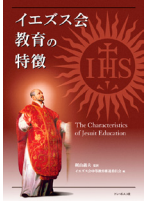


☆幸福への道 山内清海 著



「山上の説教」からイエスの生きた姿を通して「真の幸福に至る道が何か」をあらためて考察する本。やさしくわかりやすく「八つの幸い」について解説している。

☆イエズス会教育の特徴 梶山 義夫 監訳 イエズス会中等教育推進委員会編



イエズス会教育の基本理念を説いた『仕えるために』の改訂・増補版。イエズス会の教育が目的としている「他者に仕える人」を育てる決意が伝わる。イエズス会関係者のみならず、カトリック教育関係者必読の本。『イエズス会教育基本文献集』を付録収録。

☆クオ・ヴァデイス 全3巻 シェンキエヴィチ 原作 藍 真理人 作画



ポーランドのノーベル賞作家が、ローマ弾圧下のキリスト教を軸に描く、愛と勇気の物語の復刻版。 女子パウロ会 発行 税抜価格 各600円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表: エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
森山工務店
ヨゼフ 森山 新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

教区年間目標「信仰の伝達」

福岡地区聖書講座

年間テーマ：旧約聖書に親しむ

日 時：7月20日(日) 14:00～16:00

講 師：湯浅俊治神父(日本カトリック神学院)

テーマ：アブラハム物語(創世記12～25章)を読む

場 所：カトリック大名町教会1階講堂

主 催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：～イエス・キリストに従って歩む教会～
開かれた共同体へ：「使徒たちの宣教」

第3回 「福音」を宣べ伝える教会

～パウロを中心に～

日 時：6月29日(日) 14:00～16:30

講 師：牧山美好神父(新田原教会)

場 所：カトリック小倉教会

主 催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

麦の穂会主催 青年黙想会

日 時：7月28日(月) 10時～29日(火) 16時

場 所：御受難会 福岡黙想の家

テーマ：宝 TAKARA

—今、あなたを生かしているものは—

参加費：7,650円

申込締切：7月20日(日)

申込み先：☎ 093(884)0506 シスター高橋

cndshinkou@yahoo.co.jp

震災のための祈りのリレー

日 時：6月11日(水) 6:10ミサ～

19:00 テゼによる夕の祈り

場 所：カトリック大楠教会

問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一

福岡教区ハンドブック2014
訂正一覧

誤 → 正

P73 福岡雙葉小学校附属幼稚園園長 中村和子氏

→ 西山 和幸氏

P80 福岡雙葉中学校校長 大林興一氏

→ 西山 和幸氏

P80 明治学園小学校校長 Sr. 松川明子

→ Sr. 鶴野 篤子

P81 明光学園中学校校長 荻木勝氏

→ 松尾 龍美氏

P82 福岡雙葉高等学校校長 大林興一氏

→ 西山 和幸氏

P83 明光学園高等学校校長 荻木勝氏

→ 松尾 龍美氏

※筑後地区・小郡教会の主日前晩のミサは、5月17日より19時30分からに変更になりました。

以上です。謹んでお詫び申し上げます。

教区本部事務局

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

青葉若葉の聖母月も終わりました。祈りや信心が次第にうすれていくかに見える昨今、当教区では、それでも、ロザリオの祈りが熱心に捧げられている小教区も多く見られるようです。祈ること、手を合わせることに感謝すること、そのようなことが自然に出来る子どもたちを育てたいですね。人を動かすのは、そのようなほのかな、また純粋な心から出る振舞いかもしれません。何の木の花ともしらぬ芭蕉

編集後記

■小倉祈りの集い
〔日時〕6月27日(金) 13時30分
〔場所〕カトリック小倉教会
〔指導〕ガブリエル神父(御受難会(連絡先) ☎090・3985・5209 松田

■第2回教派との対話と理解の講話
〔日時〕6月29日(日) 16時
〔場所〕カトリック浄水通教会(テーマ)日本バプテスト連盟の福岡の新しい教会に聴く(講師)森崇牧師(平尾バプテスト教会(参加費)自由献金(問合せ先) ☎092・521・5114 シスター金

■美野島司牧センター
あなたの勇気が路上のいのちを支えます！
●ホームレスの方に手作りお昼ごはん・毎週火曜日10時30分●ホームレス支援夜回り・第1金曜日20時●路上からアパートに入居した方を訪問・第3土曜日13時(問合せ先) ☎092・431・1419 M・コース神父

0949・24・9905 藤井

■レクチオ・デイヴィナ
主日の福音を味わう集い
〔日時〕6月22日(日) 時場所
コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会仙水町修道院(申込み)2日前に電話・ファックス・メールにて(連絡先) ☎093・871・1166 シスター東城

■カレル在会集会
〔日時〕6月30日(月) 10時30分
〔場所〕福岡女子カレル会修道院(内容)ミサ・講話指導
カレル会司祭(問合せ先) ☎095・828・2353 鶴池

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕6月12日(木) 14時(場所)カトリック小倉教会(内容)祈りとミレーティング(連絡先) ☎

◆北九州

■第2回教派との対話と理解の講話
〔日時〕6月29日(日) 16時(場所)カトリック浄水通教会(テーマ)日本バプテスト連盟の福岡の新しい教会に聴く(講師)森崇牧師(平尾バプテスト教会(参加費)自由献金(問合せ先) ☎092・521・5114 シスター金

■カレル在会集会
〔日時〕6月30日(月) 10時30分
〔場所〕福岡女子カレル会修道院(内容)ミサ・講話指導
カレル会司祭(問合せ先) ☎095・828・2353 鶴池

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕6月12日(木) 14時(場所)カトリック小倉教会(内容)祈りとミレーティング(連絡先) ☎

◆北九州

■第2回教派との対話と理解の講話
〔日時〕6月29日(日) 16時(場所)カトリック浄水通教会(テーマ)日本バプテスト連盟の福岡の新しい教会に聴く(講師)森崇牧師(平尾バプテスト教会(参加費)自由献金(問合せ先) ☎092・521・5114 シスター金

■カレル在会集会
〔日時〕6月30日(月) 10時30分
〔場所〕福岡女子カレル会修道院(内容)ミサ・講話指導
カレル会司祭(問合せ先) ☎095・828・2353 鶴池

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕6月12日(木) 14時(場所)カトリック小倉教会(内容)祈りとミレーティング(連絡先) ☎

◆北九州

■第2回教派との対話と理解の講話
〔日時〕6月29日(日) 16時(場所)カトリック浄水通教会(テーマ)日本バプテスト連盟の福岡の新しい教会に聴く(講師)森崇牧師(平尾バプテスト教会(参加費)自由献金(問合せ先) ☎092・521・5114 シスター金

■カレル在会集会
〔日時〕6月30日(月) 10時30分
〔場所〕福岡女子カレル会修道院(内容)ミサ・講話指導
カレル会司祭(問合せ先) ☎095・828・2353 鶴池

■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕6月12日(木) 14時(場所)カトリック小倉教会(内容)祈りとミレーティング(連絡先) ☎

◆北九州

案内板

会合と催し

6月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 6月

14日(土)～15日(日) ケアプランセンターたかぎ

会社研修黙想会黙想会 (空室20)

15日(日)～16日(月) 聖マリア在俗会黙想会 (空室15)

21日(土)～22日(日) 聖書をたいへん・ゆっくり読む祈り

23日(月)～28日(土) 広島教区・高松教区合同司祭黙想会 (空室0)

※消費税率改定に伴い、4月より宿泊料金を改定させていただきます。一泊3食付き 7,300円→7,650円

*利用予定によっては充分余裕がある場合があります。

*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com (アドレスが変更になりました)

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖母マリアと共に祈る

・日 時：6月12日(木) 10時～15時

・内 容：聖ヨセフと共にエジプトへ逃れた時の聖母マリアの祈り

指 導 者：フランコ・ソットコロノラ神父(真命山院長)

問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町崎浦

1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：6月7日、21日土曜日 10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い
〔日時〕毎週月曜11時(場所)大名町教会1階(内容)賛美と感謝の祈り・聖書のわかちあい(問合せ先) ☎092・521・2503 連尾

■第62回典礼聖歌研修会
〔日時〕6月15日(日) 14時(場所)カトリック浄水通教会(テーマ)聖書と典礼(講師)深堀純氏(参加費)感謝献金(問合せ先) ☎092・541・3730 松山

■在世フランスコ教会
〔日時〕6月15日(日) 14時(場所)高宮フランスシスコ会修道院在世会集会所(問合せ先) ☎092・843・5831 石崎

■グレゴリオ聖歌を歌う会
〔日時〕6月17日(火) 11時(場所)聖クララ寮(内容)イエスのみ心賛歌他問合せ先 ☎096・380・5686 堺

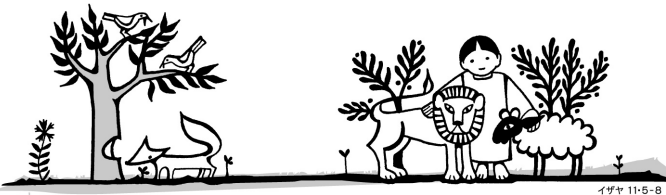
■聖書に集う会
〔日時〕6月19日(木) 18時30分(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階会議室(講師)鈴木信一神父(聖パウロ会(問合せ先) ☎092・721・2031 聖パウロ修道会

■ラスキン 黙想と祈りの集い
〔日時〕6月27日(金) 20時(場所)大名町教会小聖堂(問合せ先) ☎090・2305・5191 ブラザー阿部

第38回 正義と平和全国集会
2014 福岡大会

いのちを大切にする社会をめざして

一 見て、聞いて、知って、働く 一



2014年9月13日(土)・14日(日)・15日(祝・月)

主会場 ―― カテドラル大名町教会 福岡市中央区大名2-7-7

本年度38回を数える「正義と平和全国集会」が、初めて福岡の地で開催される事となりました。

教皇フランシスコは「貧しい人々に寄り添う教会でなければ、これからの教会の発展、展望はない」と自ら先頭に立って、貧しい人、小さくされた人々を大切にされています。

本大会においても、苦しむ人に寄り添うことを学び実践するための集会になればと、様々な体験プログラムを中心に準備を進めています。みなさま、ぜひご参加ください。そして、わたしたちも「見て、聞いて、知って、苦しむ民のために働いてくださる神」に倣いましょう。

主催：カトリック福岡教区 共催：日本カトリック正義と平和協議会

主管：第38回正義と平和全国集会2014福岡大会実行委員会

COSMOS

スポーツ用品・OA・文具 コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

TEL 0942-77-3199

代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター

総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

*入院基本料(一般病棟7:1)

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL0942-35-3322(代表)

FAX0942-34-3115

http://www.st-mary-med.or.jp

一緒に働きますか？

＝募集＝

医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室
いくま整骨院

平日：9:30～12:00
14:30～20:00
土曜：9:30～15:00
休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F

TEL 092-884-0134

ペトロ 生熊吉



Veni Sancte Spiritus

あなたの息を
送ってください
すべてが新たになるように

6月の休業日 1、8、15、22、29、30

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土)・日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930